

技能・技術実践研修カリキュラム

| コース番号 | コース名 | 期 間 | 定員 | 日数 |
|---------------------------------|--|---|-----------|---------------|
| 1857 | 【通信活用研修】 グローバル型熟練技能者が習得すべき技術英語 〈基礎編〉(B) 2 | 【集合研修日】 令和6年1月23日(火)、令和6年1月30日(火)、令和6年2月6日(火) (いずれも17:30-19:30) | 30 | 2 (集合2H×3) |
| 開催会場 | オンライン(各施設) | 技能・技術分野 | 共通 | |
| | | 技能・技術レベル | — | |
| | | 技能・技術要素 | — | |
| 研修のねらい 及び 到達目標 | ものづくりのグローバル化が進む中で技術者に要求されるスキルは大きく変容しています。特に、コミュニケーションの基礎となる技術英語については、習得するための教材や機会が十分に提供されていません。本研修では、技能五輪国際大会に参加する選手及びエキスパート等を対象に、技能五輪国際大会で求められるであろう内容に特化し、集中的にかつ基礎から技術英語を学びます。 (到達目標) グローバル型熟練技能者に求められるコミュニケーション力を習得する。 | | | |
| 最低限 必要な知識 | <p style="color: red;">※本研修は、4回1セット(4回完結)のコースとなりますので、以下の4コースすべてを受講していただく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No. 1849: 【通信活用研修】グローバル型熟練技能者が習得すべき技術英語〈基礎編〉(B) 1 ・No. 1857: 【通信活用研修】グローバル型熟練技能者が習得すべき技術英語〈基礎編〉(B) 2 ・No. 1862: 【通信活用研修】グローバル型熟練技能者が習得すべき技術英語〈基礎編〉(B) 3 ・No. 1863: 【通信活用研修】グローバル型熟練技能者が習得すべき技術英語〈基礎編〉(B) 4 | | | |
| 研 修 内 容 | 項 目 (予 定) | 講 義 | 実 技 ・ 演 習 | |
| | <p>本研修は通信活用研修であり各集合研修前に事前課題が提示されます。 各事前課題は、指定の期日までに提出等をしていただきます。その事前課題をもとに集合研修(オンライン)を行い、フィードバックや評価がされます。</p> <p>【事前課題】 指定課題の学習とself check</p> <p>【集合研修(オンライン)】</p> <p>1 英語の基礎の振り返り(2) (1) 基本単語と熟語 (2) 基本文法</p> <p>2 英語によるコミュニケーション(2) (1) 英会話の基本 (2) 基本フレーズ (3) 基本フレーズによる英会話の実際</p> <p>3 技能五輪国際大会で使えるコミュニケーション(2) (1) 外国人とのコミュニケーション法の理解 (2) コミュニケーション事例集 (3) 事例集を用いた実際のコミュニケーション</p> | | 6 H | |
| | | 1 H | 1 H | |
| | | 1 H | 1 H | |
| | | | 2 H | |
| | | 2 H | 10 H | |
| リニューアル の概要 及びアピール ポイント | 技能五輪国際大会で実際に使える英会話の習得を目指します。 | | | |
| 研修成果が 活用できる 職務 | 職務 1 | 職務 2 | 職務の内容 | |
| | | | | |
| 担当教員 (ユニット) | 百名亮介・山下龍生(技術基礎) 半田純子(技能分析ユニット) 菊池拓男(情報通信ユニット) 外部講師 | | | |
| 使用する機器 等 | English for business communicaiton (ISBN:978-4-523-17870-5) Grammar Plus[second edition](ISBN:978-4-523-17943-6) | | | |
| 受講者が用意 するテキスト (予定) | | | | |